アンビシャス運動は県民運動です

みんなで遊ぼう　みんなで学ぼう　場所：国分ヶ丘集会所　２０１０年６月№106

国分アンビシャス広場だより

国分アンビシャス広場ｈｐ
http://www.f-icq.com/ambitious

６月の広場のある日

広場開催日	囲碁教室	広場
5日（土）	10.00～11:20	13:30～17:30
12日（土）	10.00～11:20	13:30～17:30
19日（土）	10.00～11:20	13:30～17:30
26日（土）	10.00～11:20	13:30～17:30

※広場では初心者に卓球の指導しています

ちびっ子指導員こま指導

５月４日、天満宮で多くの子どもたちにこまの指導しました。



子どものころの体験がその後の人生にどのように影響するのか

国立青少年教育振興機構では、子どものころの体験がその後の人生にどのように影響するかの調査結果を発表しました。

調査結果では、

① 子どものころいろんな子どもと遊んだ体験の多い人が「職業意識」（やりたい仕事がある、社会や人のためになる仕事をしたいなどの意識）が高い。

② 子どものころいろんな子といろんな遊びをした体験の多い人が「規範意識」（社会のルールを守る意識）が高い。

③ 子どものころの体験の多さが、「物事をやりとげることに対する意識が」高い。

④ 子どものころの体験が多いほど「人間関係能力」が高い。などが報告されています。

大人の皆さんは、同窓会で久しぶりに昔の友達と会うことがあると思いますが、そのとき子どものころいろんな体験をしてよく遊んでいた友達が元気よく仕事をしていると思いませんか。

今の子どもたちは、いろんな体験をする機会はあると思いますが、コンピューターゲームなど室内遊びも多いようです。

アンビシャス広場は、異年齢のいろんな子どもたちと一緒に遊び、自立心、人間関係能力が付くような遊びができるように取り組んでいます。

子どもの日　天満宮和ごま大会

５月５日、太宰府天満宮で大人も子どもも参加できるこま大会を開催しました。こま起こし、手のせで時間を競い、けんかごまの個人と団体戦を楽しみました。





けんかごま団体戦優勝チーム
久しぶりに中学生のお兄ちゃんと一緒に戦いました。

けんかごま個人

中学生も参加しての激しい戦いでした、島元隆介君が小学生では検討し、中学生を苦しめましたが惜しくも準優勝でした。

優　勝　　植田　　悠　（学業院中学１年）
準優勝　　島元　隆介　（国分小５年）
３　位　　鶴久　徹（学業院中学１年）
４　位　小村　徳秀　（国分小４年）







「手のせ」新記録なりませんでした



「手のせ」の記録３時間（２００８年植田悠君記録）に５名が挑戦しました。記録保持者の植田悠君が１時間１０分、鶴久徹君５６分で新記録は出ませんでした。中学生に続く小学生の皆さん挑戦してください。

広場は、未就学児は、ボランティアの目が届きません保護者同伴でお願いします

広場についてのお問合せ　℡924-0580
国分アンビシャス広場委員会　藤田彩子